

【リビジョンアップ】

R20TS1122JJ0100

Rev.1.00

2025.04.20

e² studio RX Smart Configurator プラグイン 2025-04,
RX スマート・コンフィグレータ V2.25.0

概要

タイトルに記載している製品を以下のとおり、リビジョンアップします。

- (1) e² studio RX Smart Configurator プラグイン : 2025-01 から 2025-04
- (2) RX スマート・コンフィグレータ : V2.24.0 から V2.25.0

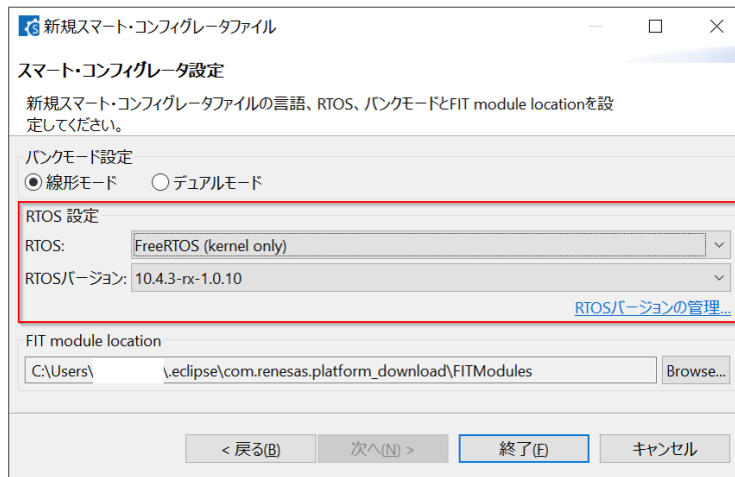
1. アップデート対象バージョン

- e² studio 2025-01 (RX Smart Configurator プラグイン 2025-01) 以前の全リビジョン
- RX スマート・コンフィグレータ V2.24.0 以前の全リビジョン

2. リビジョンアップ内容

2.1 新機能

・ Visual Studio Code with Renesas extension を使用して、スマート・コンフィグレータで RX プロジェクトを作成する場合、プロジェクト生成時に FreeRTOS カーネルを選択できるようになりました。



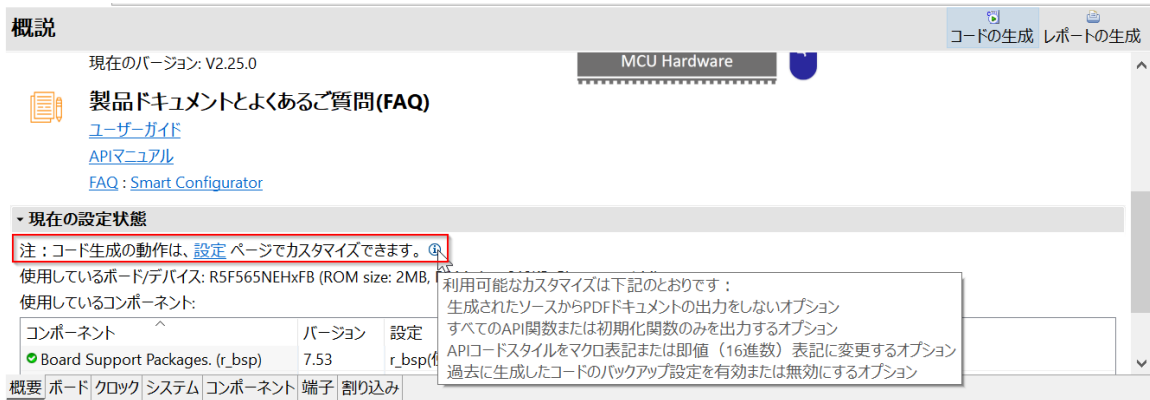
下記資料もご参照ください

[Renesas VS Code Extensions User Guide](#)

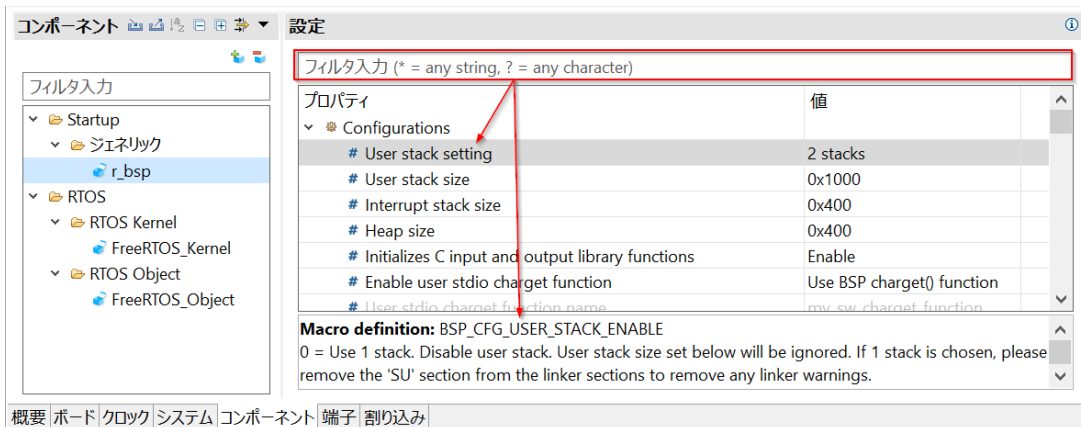
[Visual Studio Code - ルネサス拡張機能のインストール方法](#)

[Visual Studio Code - How to Create, Build, and Debug a Smart Configurator Project for RX](#)

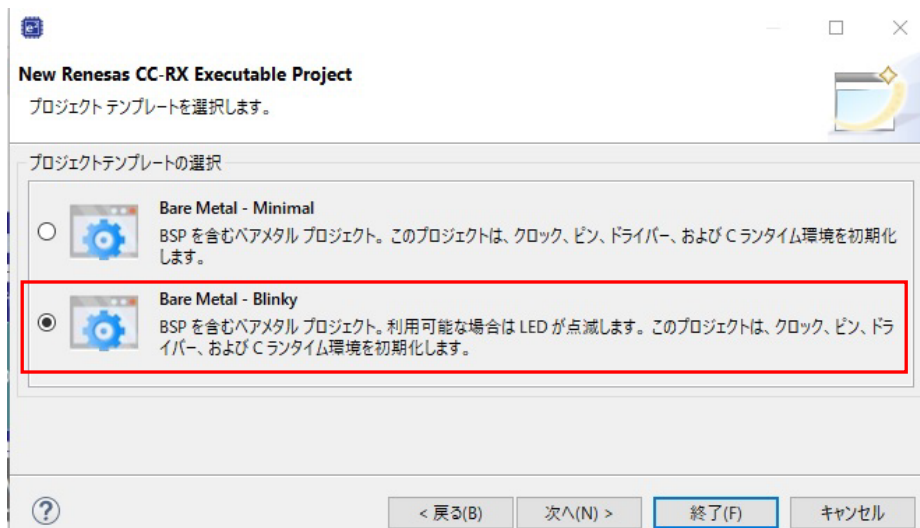
- ・環境設定にすばやく移動できるように「概要」タブにリンクを表示しました。



- ・プロパティ・グリッド表示に検索テキスト・ボックスが追加され、コンフィグレーション名やマクロ名を検索できるようになりました。



- ・S12AD コンポーネントで常時サンプリングをサポートしました。
対象デバイス : RX26T, RX64M, RX65N, RX651, RX66N, RX66T, RX71M, RX72M, RX72N, RX72T
- ・e² studio で生成される Blinky プロジェクトを、2 つの LED を点滅するように変更しました。



2.2 改修内容

以下の問題を改修しました。

- 拡張子のないファイル名（例：Makefile）や複数のドットを含むファイル名（例：compt-2.x.h）などの特殊なファイルを含む FIT モジュールのコード生成ができない問題。
- GCC ツールチェーンを使用した RX プロジェクトで、コード生成時に Warnings が保持できない問題。

新機能、改修の詳細については、以下のリリースノートをご参照ください。

- RX スマート・コンフィグレータ V2.25.0 リリースノート (4月21日から掲載予定)

<https://www.renesas.com/software-tool/rx-smart-configurator#documents>

3. アップデート方法

3.1 e² studio を使用している場合

e² studio をアップデートすることで、スマート・コンフィグレータもアップデートできます。e² studio のアップデート方法については、以下のツールニュースの"3. アップデート方法"をご参照ください。(4月21日掲載予定)

<https://www.renesas.com/software-tool/e-studio#documents>

4/20 RENESAS TOOL NEWS 資料番号 R20TS1118JJ0100

統合開発環境 e² studio 2025-04 へのバージョンアップのお知らせ

なお、e² studio をアップデートすることで、スマート・コンフィグレータもアップデートできます。

3.2 CS+を使用している場合

- (1) 以下の URL から、RX スマート・コンフィグレータをダウンロードしてインストールしてください。

(4月21日に公開予定)

<https://www.renesas.com/software-tool/rx-smart-configurator#download>

RX スマート・コンフィグレータ V2.25.0

- (2) Windows のスタート・メニューから プログラム → Renesas Electronics CS+ を選択し、アップデート・マネージャを起動してアップデートしてください。(4月21日からサービス開始予定)

注意: ラピッドスタートを有効にして CS+を起動している場合は、CS+を一旦終了した後にアップデート・マネージャを起動してください。

ラピッドスタートにより CS+が Windows 上の通知領域 (タスクトレイ) 内に常駐している場合は、エラーが発生し、以下のメッセージが表示されます。

M0120001

"CubeSuiteW+.exe"

が起動中のため、インストールは中断されました。

次回ツール起動時に再開されます。

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	Apr. 20.25	-	新規発行

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

www.renesas.com

お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

www.renesas.com/contact/

商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。

© 2025 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.

TS Colophon 4.3